

■ 卒業論文題目 ■

芸術・美術史コース

二〇〇九年度

- 押川 沙織
英国式庭園における発生過程の一考察
—理想と技術を指標にして—
- 奈須 知子
日本におけるマネリスムの評価の変遷
(一九二二—二〇〇七)に関する一考察
- 万木 貴弘
グロープの軌跡 —グロープの表象的意味をふまえて—
- 三嶋はる香
一九世紀から二〇世紀のポスターに見る
「時代」 —日・仏・独の作例を中心に—
- 百合園 豪
能面考 —延岡内藤家所蔵作品にみるその表現と地域性—
- 井土 裕則
杉山寧の画業について
- 河野 秀太
藤田嗣治の後半(一九三〇—一九五〇年)の活動をめぐる一考察
- 黄 文 鳳
雪舟についての考察
- 野村 大助
岡田三郎助の芸術
- 岩尾 利弘
安井曾太郎の画業について

二〇〇八年度

- 国見 直子
代表的な歌舞伎演目の分析
- 砂坂 巧
菱田春草について
- 辻 勇介
萬鉄五郎の生涯の活動をめぐる一考察
- 程 琰 琦
楠木清方について
- 樋口 大輔
佐伯祐三についての分析
- 水久保夕貴
黒田清輝の画業の分析
- 森本 誠
富岡鉄斎について
- 大隈 春香
岡田三郎助の画業の分析
- 宮本 晴佳
菱田春草の画業の分析
- 井上佳央梨
四神(青龍、白虎、朱雀、玄武)について
- コラギョクシン
喜多川歌磨の画業と作品分析
- 宋 穎
狩野永徳の屏風絵について
- 足立 友里
カルメンのジプシー音楽についての分析
- 飯田 佳和
中川一政の画業について
- 岩切 悠記
小出楯重について
- 上田紗綾香
茶道の美について
- 宇留嶋雅幸
浅井忠について

二〇〇七年度

笠谷 和美

吉川 昌志

金城真菜美

黒木 哲生

河戸 貴宏

佐久間敬太

惣大 智之

孫 華

谷口 昇

戸田 康尊

西川真佑美

馬場 営造

森田 裕

山口 大樹

大城奈美子

溝口 知代

宮崎 俊満

福田平八郎について

小糸源太郎について

菱田春草の生涯と画業

中村彝の画業と作品分析

車と建築の関係 ～BMWヴェルトとメルセデス・ベンツミュージアムを例にして～

梅原龍三郎の画業と作品分析

香月泰男、その画業と故郷への思いについて

葛飾北斎の浮世絵について

佐伯祐三について

安田靉彦の画業について

青木繁について

萬鉄五郎の画業と作品分析

エドワルド・ムンクについての一考察

～エドワルド・ムンクの人生を巡る表現～

児島善三郎の画業について

プロパガンダとしての肖像画の一考察

エコール・ド・パリ ～藤田嗣治から考察

する絵画の独自性～

宇治山哲平 ～独自の画風と過程を巡って～

ケイレイレイ

小路口宣宏

荘 恵 玉

高見 知代

土手 理恵

長谷川純子

畑田 明紀

深沢 太善

藤本 広太

増野 佑介

三浦 光

山本 弘樹

吉村 幸剛

若島 元規

サイゲイティ

日本画の大正期間の画家について

伊藤若冲について

正倉院について

山下清の切り絵とその魅力について

エッシャーの魅力について

岡倉天心について

浅井忠について

レオナルド・ダ・ヴィンチについて

西洋近代建築史にみる駅舎の評価

村上華岳について

世界の巨大建築物・建造物について

佐伯祐三について

俵屋宗達について

大正画壇の流れ

紫禁城について